

令和6年4月30日

大阪府教育委員会  
教育長 水野 達朗 様

少年自然の家共同事業体 代表者  
533-0033  
大阪市東淀川区東中島1-20-14  
公益財団法人 大阪ユースホステル協会  
会 長 平 岡 龍 人

令和5年度大阪府立少年自然の家の事業報告書の提出について

大阪府立少年自然の家基本協定書第7条の規定により下記のとおり報告します。

記

1. 主なとりくみについて
2. 事業実績について
3. 収入実績について
4. 損益計算書
5. その他の実績について
6. 利用者満足度について
7. 事故・苦情処理について
8. 利用実績について
9. サービスの安定性評価
10. 利益処分計算書

以 上

## 令和5年度 事業報告書

### 1-1. 主な取組み

年間利用者数

宿泊利用 49,897人 日帰り利用 40,904人 合計 90,801人

事業の状況

(重点的な取組み)

- ・関係法令を遵守した運営
- ・創意工夫やノウハウを活用し、合理的かつ効率的な業務の実施
- ・アフターコロナを意識した、利用者目線に配慮した安心、安全な施設運営。
- ・施設の特性を生かした企画、防災教育プログラムの提供。  
大阪府の体験活動推進を目的とした学校へ「出前講座」を実施。
- ・SNSなどを利用した効果的な広報と、フォロワー数の増加。
- ・SDG`Sを意識した環境への取り組みを実施。
- ・企業、他団体、近隣施設との協働。ノウハウを取り入れたサービス向上。

(事業)

主催事業

災害に備える支援事業	1事業
長期宿泊体験事業	2事業
読書活動と結びついた自然体験の推進事業	2事業
※1事業はガーデンイベントとして実施	

自主事業

障がいを抱える青少年への支援事業	1事業
子どものための自然体験活動	3事業
ホテル観賞の夕べ	1事業
自然をまるかじり	1事業
ファミリーキャンプ	1事業
大阪府アドプトフォレスト	1事業
自然環境・野外活動指導者育成事業	1事業
自然の家専属指導者の育成事業	1事業
近隣市町村との連携支援事業	1事業
※おおさか元気広場(出前講座)等	
インターンシップ(就労体験)推進事業	1事業

その他自主事業

バーベキューガーデンイベント	2事業
プログラミングキャンプ	1事業
ゴールデンウィーク他宿泊・日帰りパック	3事業
おとなのための自然体験活動	1事業
家族でたき火を楽しもう	1事業
子育て応援事業「親子のセミナー」	2事業
女性のためのソロキャンプ体験会	1事業

## (食堂)

- ・利用者のニーズに合わせた献立作成、対応時間対応  
※アレルギー対応、宗教対応食、早朝退所団体などへの時間配慮
- ・集団で食事を摂ることができない児童・生徒に対して、別室での個食対応など、安心して食事をしてもらう取り組み
- ・フードロスを意識した少数対応用の厨房機器の導入
- ・野外炊飯や補食・夜食のアレルギーや疾病による食事制限、咀嚼・嚥下障がいのある方へのペースト食や刻み食の提供など、要望に応じて対応

## 提案による施設の維持及び補修に関する状況

## (館内設備)

- ・宿泊棟
- B棟 1F 廊下塗装修繕  
宿泊室扇風機 11 台更新  
宿泊棟トイレ扉・照明修繕・渡り  
廊下タイル貼替、塗装剥がれ修繕  
A棟 1F 談話室エアコン交換  
B棟 2F リーダー室エアコン修繕  
B棟全.C棟 1・2 女子トイレ扉修繕

- ・本館
- 放送チャイム修理  
オリエンテーションホール空調冷却塔清掃・冷暖切替作業  
玄関天井漏水パネル染み貼替  
LED化工事(大阪府)  
玄関自動ドア点検  
浴室ろ過機ポンプ(ピンク側)

- ・その他
- 受電設備復電工事  
第2電気室排気ファン補修  
ボイラー室.排気ファン更新工事  
汚水処理場ダクト支持金具取替  
ボイラー室.浴室給湯ポンプ更新工事  
トイレ洗浄水ピストンバルブ取替え  
下駐車場駐車スペース白線引き

## (食堂設備)

- 厨房吸気ファン外調機修繕  
厨房冷蔵庫一式メンテナンス  
食堂空調 GHP オイル交換  
厨房食洗器点検修理  
厨房ボイラー修理

厨房回転釜修理

食堂イス新調 32脚 (大阪府)

(野外設備)

裏門扉修理

玄関階段上の土間コンクリートたたき、根上り破損補修工事

登山道整備

ツリーイングフィールド整備

倒木処理、高枝剪定

忌避剤設置

スズメバチ巣駆除、アブキャッチャー設置

進入路、広場、野外ステージ、キャンプ場周辺 除草作業

チェーンゲート故障修理、チェーン接続金具製作

野外倉庫かたづけ

野外食器用具洗浄作業、コゲつき鍋磨き

利用促進に向けた施設サービスの向上に関する提案

Google フォームを使用しての事業申し込みの簡略化

動画共有サービスを有効活用し、下見や打ち合わせに有効利用

Z o o mを使つてのオンライン打ち合わせの実施

教員向け、防災カレーの試作調理の実施

バーベキューガーデン奥貝塚にてガーデンイベントの実施

野外用貸出し物品の購入

利用団体の要望によりプログラムの指導員を派遣

体育館バスケットゴール(移動式)2台増設

宿泊棟各回入り口に暗証番号式ロック取り付け(試験運用)

業務委託・保守点検状況

警備保安全管理業務

日常清掃業務

ボイラー(空調・温水ヒーター)運転管理業務

汚水処理施設維持管理(毎月所定回数)

遊離残留塩素測定(毎月)

自家用電気工作物保安全管理業務(月次および年次点検1回)

アスレチック遊具点検(6月)

消防設備等点検(9月・3月)

空気環境測定(4月・6月・8月・10月・12月・2月)

厨房・食堂害虫駆除(6月・9月・12月・3月)

ガス温水器排ガス測定(9月・3月)

水道立入検査(7月)

小荷物専用昇降機検査(8月)

L P ガス強制気化装置(ペーパーライザー)点検(11月・3月)

灯油地下タンク漏えい検査(3月)

特別清掃(2月)

建築設備点検（3月） 特殊建築物点検（3月） 防火設備点検（2月） 防火対象物点検・・特例認定により検査免除 公用車6か月毎点検 ゴミ回収業務(週1～3回) 敷地内除草業務(随時) 温水ヒーター(ボイラー)点検(毎月) 自賠責保険・見舞金制度加入(4月) 施設・設備補修業務、物品修理業務、施設管理用物品購入業務、植栽・山林管理業務、 野外施設等保守点検業務(以上、随時)
--

## 1-2. 主な取組みに対する総括・自己評価

<p>令和5年度は、利用においては年間90,801人となり、2018年の年間利用者数94,290人と比較してもほぼ9割の利用率まで持ち直すことができた。</p> <p>利用においては、昨年度に引き続き、団体からのニーズにおいてキャンプファイヤーや、レクリエーション、プログラムのサポートにおいて職員の有料指導を提案することで、利用団体への顧客満足度の向上と利用収入のアップにつなげることができた。</p> <p>事業においては、天候の為に中止となったものはあるものの、フォレストジュニアクラブを中心に、キャンセル待ちが多数みられるものもあり、大変好調であった。また、リピーター率が非常に高い、女性の為のソロキャンプや、世間一般に習い事として定着してきたプログラミングを題材としているプログラミングキャンプなどについては、一定の熟度に達したとみられるため、次年度においては回数の見直しや、新たなエッセンスを加え、ブラッシュアップしたものを講じていきたい。</p> <p>バーベキューガーデンについては、利用促進を図るため、ガーデンイベントを季節に合わせて展開。蛍の観察や、ツリーイング体験、クリスマスなど、家族向けの親睦を深める事業を行った。また、集客において、効果的な利用促進として、平日利用の学校団体、特に、日帰り炊飯を試験的にバーベキューガーデンにて提案した。結果として、バーベキューガーデンは100名前後のキャパシティがあることで、小規模校であれば、他の学校と重複する可能性がなく、利用が可能となること。駐車場からの動線がとりやすいため日帰り炊飯としては利便性が高いことがわかり、好感触であった。次年度への取り組みとして活用を考えていきたい。</p> <p>食堂では、多様化する利用団体からのニーズに応えるべく、アレルギー対応や、新規メニューへの取り組みを行った。また、基本となるオペレーションを含め利用者が安心して食事を摂ることができる環境づくりを心掛けている。アレルギーの対応についてはフローチャートを使用し、アレルギー提供職に関しては、ヒューマンエラーを回避するためのダブルチェックの実行など特に力を入れている。厨房機器においては経年劣化などが見られる機器もあるため、更新など、ハード面での更新を計画的に行っていきたい。</p> <p>設備においては、4月の全館停電のトラブルを受け、設備面での見直しを行った結果、老朽化が見られるポンプ設備を中心にメンテナンスや更新を行った。また、利用</p>
---

者アンケートに基づき、利用設備への投資も行い、オリエンテーションホールの設備などの更新やセキュリティ対策としてフロアの電子機器を用いたロックシステムの試験導入を行い、利用者のニーズに応えると共に、利用者の利便性や快適性、安全性を高める取り組みを行った。今後もさらなる利用者のニーズに応えるべく、優先順位を考えながら計画的な取り組みを行い、多くの利用者から愛される施設作りを実施したい。

## 2-1. 事業実施状況

2023年		事業名	自主/ 主催	指定管理者 カウント	実績数 (人)	備考
4月	4/29(土祝)-30(日)	GWお泊りバック①	他自	宿	19	5組
5月	5/3(水祝)-4(木祝)	GWお泊りバック② (追加)	他自	宿	22	6組
	5/4(木祝)-5(金祝)	GWお泊りバック③	他自	宿	31	8組
	5/5(金祝)-6(土)	GWお泊りバック④	他自	宿	23	7組
	5/6(土)-7(日)	GWお泊りバック⑤	他自	宿	8	2組
	5/14(日)	親子deしぜんのようちえん①	他自	日	10	4組
	5/20(土)-21(日)	女性のためのソロキャンプ(春)①	他自	宿	5	
	5/27(土)-28(日)	女性のためのソロキャンプ(春)②	他自	宿	-	応募少数のため中止
6月	6/3(土)-4(日)	ガーデンイベント①(ホテルのタベ①宿泊)	自主	宿	-	前日の豪雨で増水のため中止。(予約36名10組)
	6/3(土)	ガーデンイベント①(ホテルのタベ①1日目日帰り)	自主	日	-	
	6/4(日)	ガーデンイベント①(ホテルのタベ②2日目日帰り)	自主	日	31	10組
	6/10(土)-11(日)	フォレストジュニアクラブ①(テント・ハイク・野外炊事)	自主	宿	34	
	6/17(土)	もりのこくらぶ①(旧.キッズデイキャンプ) 日帰り	他自	日	42	16組
	6/17(土)-18(日)	もりのこくらぶ①(旧.キッズデイキャンプ) 宿泊	他自	宿	19	7組
7月	7/2(日)	親子deしぜんのようちえん②	他自	日	24	9組
	7/15(土)-16(日)	ガーデンイベント②夏のお泊りバック①(流しぞうめん)	他自	日	24	7組
	7/16(日)-17(祝)	ガーデンイベント②夏のお泊りバック②(流しぞうめん)	他自	日	12	4組
	7/22(土)	こどもシャワーライミング①(元FJC,AM/PM)	自主	日	15	
	7/23(日)	こどもシャワーライミング②(元FJC,AM/PM)	自主	日	27	
8月	8/7(月)-10(木)	中高生チャレンジキャンプ	主催	宿	6	中高生
	8/10(木)-11(金・祝)	ガーデンイベント②夏のお泊りバック③(流しぞうめん)	他自	日	37	10組
	8/11(金・祝)-12(土)	ガーデンイベント②夏のお泊りバック④(流しぞうめん)	他自	日	38	10組
	8/16(水)-20(日)	こどもワイルドキャンプ	主催	宿	24	
	8/26(土)	おとなのえんそく①(ツァーカミジ) (宿泊可)	他自	日	13	宿泊希望なし
9月	9/2(土)	ガーデンイベント③(えほんでいただきます①)	主催	日	12	4組
	9/2(土)-3(日)	ガーデンイベント③(えほんでいただきます①)宿泊	主催	宿	32	10組
	9/3(日)	ガーデンイベント③(えほんでいただきます②)	主催	日	13	3組
	9/9(土)-10(日)	フォレストジュニアクラブ②(水遊び・魚つかみ)	自主	宿	35	
	9/23(土・祝)	ガーデンイベント④(ツァーカミジ ①)	他自	日	14	6組
	9/24(日)	ガーデンイベント④(ツァーカミジ ②)	他自	日	21	9組
	9/30(土)-10/1(日)	秋のファミリーキャンプ	自主	宿	43	14組
10月	10/15(日)	第34回乗馬体験と臨床動作法	自主	日	27	11組
	10/21(土)-22(日)	女性のためのソロキャンプ(秋)①	他自	宿	18	
	10/28(土)-29(日)	女性のためのソロキャンプ(秋)②	他自	宿	-	応募見込めず中止
11月	11/11(土)	もりのこくらぶ②(旧.キッズデイキャンプ) 日帰り	他自	日	10	4組
	11/11(土)-12(日)	もりのこくらぶ②(旧.キッズデイキャンプ) 宿泊	他自	宿	11	4組
	11/19(日)	親子deしぜんのようちえん③	他自	日	28	11組
	11/23(木・祝)	第38回オープンデー	他自	日	264	
	11/26(日)	えほんのひろば	主催	日	193	
12月	12/2(土)-3(日)	第17回大阪府アドプトフォレスト	自主	日	65	19組
	12/2(土)-3(日)	フォレストジュニアクラブ③(ツァーカミジ・フィ&鶏丸)	自主	宿	31	-
	12/9(土)	おとなのえんそく②(ツァーカミジ) (宿泊可)	他自	日/宿	8	宿泊希望なし
	12/16(土)-17(日)	プログラミングキャンプ	他自	宿	10	-
	12/23(土)	ガーデンイベント⑤(ツァーカミジ)自然をまるかじり①)	自主	日	8	2組
	12/24(日)	ガーデンイベント⑤(ツァーカミジ)自然をまるかじり②)	自主	日	31	8組
1月	1/7(日)	たき火を楽しもう①	他自	日	59	19組
	1/7(日)-8(祝)	冬のお泊りバック①	他自	宿	42	13組
	1/21(日)	たき火を楽しもう②	他自	日	-	雨天中止(予約5組18名)
	1/27(土)	指導者養成講座(応急手当/ディックファースト/ドバイド/ケア/ス)	自主	宿	12	
	1/28(日)	親子deしぜんのようちえん④	他自	日	23	9組
2月	2/4(日)	たき火を楽しもう③	他自	日	48	13組
	2/10(土)	こどもツリーイング体験会①	自主	日	9	
	2/11(日)	こどもツリーイング体験会②	自主	日	19	
	2/11(日)-12(月・祝)	冬のお泊りバック②	他自	宿	20	7組
	2/18(日)	たき火を楽しもう④	他自	日	127	37組
	2/23(金)-24(土)	冬のお泊りバック③	他自	宿	21	6組
	2/24(土)-25(日)	冬のお泊りバック④	他自	宿	16	6組
3月	3/2(土)-3(日)	もりのこくらぶ③2daysキャンプ(1泊)(旧.キッズキャンプ)	他自	宿	15	
	3/9(土)-10(日)	フォレストジュニアクラブ④(竹ドーム)	自主	宿	36	
	3/20(水・祝)	サバイバルマスター1DAYチャレンジ(防災DAYキャンプ)	主催	日	73	
不定期	6/17(土)	おおさか元気広場 出前講座(泉佐野市・日根野小)	自主	日	80	ｽﾌﾟｰﾝ作り
	6/17(土)	おおさか元気広場 出前講座(泉佐野市・上之郷小)	自主	日	15	ｽﾌﾟｰﾝ作り
	10/25(水)	おおさか元気広場 出前講座(羽曳野市・高鷲南小)	自主	日	35	ﾈｯﾄ設置
	11/6(月)	おおさか元気広場 出前講座(豊能町・東ときわ台小)	自主	日	22	ｽｯｸﾗｲﾌ
	11/21(火)	おおさか元気広場 出前講座(門真市・古川橋小)	自主	日	18	ﾛｰﾌﾞ あそび
	12/9(土)	出張講座(河南町教委・わくわく子ども教室)	自主	日	21	たき火・ﾈｯﾄ設置6組
	12/23(土)	おおさか元気広場 出前講座(門真市・門真みらい小)	自主	日	25	ｽﾌﾟｰﾝ作り
	12/25(月)	おおさか元気広場 出前講座(阪南市・朝日小)	自主	日	11	ｽｯｸﾗｲﾌ
	1/22(月)	おおさか元気広場 出前講座(門真市・大和田小)	自主	日	28	麻ひもﾌﾞｰｽﾀｰ
	1/24(水)	おおさか元気広場 出前講座(門真市・速見小)	自主	日	34	ｽﾌﾟｰﾝ作り
	2/7(水)	おおさか元気広場 出前講座(門真市・北葉本小)	自主	日	11	ｽﾌﾟｰﾝ作り
	(実施なし)	シルバー生涯学習DAY(おとなのための自然体験活動)	他自	日	-	ﾈｯｽﾞ に応じて対応
	(随時実施)	インターンシップ(就労体験)推進事業	自主	日	21	大教大17,大体大4
	(随時実施)	自然の家専属指導者の育成事業	自主	日・宿	36	ﾎﾞｰﾗﾝｼﾞｱﾘｰﾀﾞｰ

合計	内訳	事業数 (中止を含む)		実施回数 (中止除く)	実績数 (人)		
		主催事業	5			7	353
		自主事業	12			28	780
		その他自主事業	11			33	1082
		計	28			68	2215

## 2-2. 事業に関する総括・自己評価

令和5年度に自然の家で実施した事業は中止になったものを除き28事業、計68回。参加者総数は2215人で昨年度(2149人)より66人増となった。  
(事業名の後ろのカッコは実施時期と対象者)

<主催事業> 5事業7回(中止なし) 353人

### ●長期宿泊体験事業

・「中高生チャレンジキャンプ」(8/7-10・中高生)

3泊4日で各自シェルター設営、野外炊事にチャレンジし、川遊びでは観察や釣りなどを自ら決めて行う自立心を養った。流しそうめんを全員で竹を切り出して台を作るなど達成感を分かち合う体験もできた。「フォレストジュニアクラブ」で小学生の頃から参加している方もおり、将来のキャンプリーダーの養成につながる事業としても機能している。

・「こどもワイルドキャンプ」(8/16-20・小4~6年生)

4泊5日で衣食住の環境への感謝と自然の大切さを学ぶことを目標に、伐採した竹を使った秘密基地づくり、川遊び・生物観察、登山等を行った。それぞれが設定した目標に達成感が得られ、参加者同士の深いコミュニケーションを体験することができた。

### ●読書活動と結びついた自然体験の推進事業

・「えほんでいただきます」(8/10,11・幼児親子)

絵本に登場する料理をつくり、ストーリーに沿って自然に触れる活動することで、絵本の世界を疑似体験することで想像力を養った。今回は『ぐりとぐら』(カステラ)、『ピヨピヨはじめてのキャンプ』(竹のお皿とカレー)を体験した。

・「えほんのひろば」(11/23・家族)

オープンデーと併催。貝塚市図書館より絵本借り受け、好きな絵本を持って自由なスタイルで読書を楽しみ、自然の家ならではの絵本と親しむ機会を提供できた。

### ●災害に備える支援事業

・サバイバルマスター1DAYチャレンジ(3/20・小学生以上)

災害時に役立つスキルとして今回はブルーシートとロープを使ったシェルターづくりを行った。年初の能登半島地震の影響もあり、定員50名に対し73名の参加があった。72時間サバイバル教育協会の認定資格を受講取得した職員がメソッドを活用。

<自主事業> 12事業28回(中止を除く) 780人

### ●障がいを抱える青少年への支援事業

・「乗馬体験と臨床動作法」(10/20・府内支援学校中学部の生徒と親子)

外部講師と学生ボランティア、近隣の乗馬クラブなど外部の協力連携により実施しており、コロナ禍による中止を含め34回目となる。前年度はコロナ終息後の再開で参加枠を10組に絞って再開したが、今回は参加枠を12組に増やした。普段では実現が困難な体験とマンツーマンで付添うボランティアや他家族との交流、家庭で出来る臨床動作法の講習など、参加者から多くの感謝をいただいた。

### ●こどものための自然体験活動

・「フォレストジュニアクラブ」(6,9,12,3月年4回・1泊2日・小3~6年生)



年間を通して小学校高学年を対象に、グループ活動により協調性を育み、協力して目標を達成する楽しさを体験する事業。

野外炊事、テント設営のほか、季節に応じてホタル観察、魚つかみ、秘密基地づくり、ナイトハイク、星空観察、鶏の丸焼きなど、自然体験活動を展開した。

- ・「こどもシャワークライミング」(7/22,23・小3~6年生)
- ・「こどもツリーイング体験会」(2/10,11・小3~6年生)

昨年度までフォレストジュニアクラブの一環で行ってきたが、特にこの2件は、毎回、定員を上回る応募があり、大変人気が高いため別事業として分離独立した。さらに多くの参加を受け入れる工夫として、午前午後の2交代制とし、昆虫採集やモルックなどの野外活動を行った。

#### ●ホタル観賞、自然をまるかじり

- ・ガーデンイベント①「ホタルの夕べ」(6/3,4・家族)

前日の豪雨で6/3は河川増水により中止。翌6/4はホタルの流出が懸念されたが、昨年以上の数が見られ、参加された皆様にも満足いただけた。観察会の前に自然観察やホタルについて簡単なレクチャーやクイズを行い、里山の自然に関心を持っていただけた。

- ・ガーデンイベント⑤「ダッジオープンで鶏の丸焼きをつくろう」(12/23,24・家族)

食育テーマに普段使わない素材・道具を使った豪快なキャンプ料理を行う事業。鶏を丸ごと1匹機会がなかなか無いため、貴重な体験だったという声や、鶏丸イベントが好きで二年連続で参加しているご家族もおられた。

#### ●ファミリーキャンプ

- ・「秋のファミリーキャンプ」(9/30-10/1・家族)

初心者でも気軽に家族でキャンプを楽しんでもらうことを目標にテント体験や野外炊飯などを実施した。年々参加者の低年齢化が進んでおり、大人たちのお手伝いをしながら進める姿も見られ、大人も子供も満足度の高かった。

#### ●大阪府アドプトフォレスト

- ・「冒険の森づくり」(11/26・小1~中3と家族)

清水建設、大阪府泉州農と緑の総合事務所との連携事業で、活動を通して森の大切さや役割を学び、自然に親しんでもらうことを目標に行っている。

活動の始めに人と森との関わりについて簡単な講義を設け、竹の伐採と工作、ツリーイング体験を交代で行い、自然を意識した時間を過ごせた。コロナ禍により4年ぶりの再開であったが、以前からボランティアでご参加頂いている和泉葛城ネイチャーの協力により以前同様の運営を再現できた。定員30名に対し65名の参加があり人気が高い。

#### ●自然環境・野外活動指導者養成事業

- ・「子どもの応急手当(メディックファーストエイドチャイルドケア)」(1/27・大人)

毎年、野外活動に関わる講義資格取得を目指し行っている事業。

今回は子どものケガに対する応急処理について研修実習を行った。2年前にも実施しており当施設職員も今回でほぼ全員が受講を修了した。

#### ●近隣市町村との連携支援事業

- ・おおさか元気広場「出前講座」(主に閑散期・小学校の放課後児童クラブ等)

コロナ禍が終息し、依頼件数が徐々に復調しており、昨年2倍の小学校10校からスプーン作りやロープ遊び、スラックライン体験などのオファーを頂いた。子どもたちにとって校外から専門の先生がやってきて教わる機会は新鮮で、毎回楽しい時間を過ごせている。

・公民館等からの出張講座（12/9・家族）

前年に続き、河南町教育委員会からのご要望ふがあり、たき火体験を行った。今回はドームテントの設営も体験し、家族毎にデイキャンプの雰囲気味わって頂けた。

●自然の家専属指導者の育成事業

・「そぶらリーダー」研修（随時・大学生、社会人）

事業のリーダー、サポートを務める学生を中心としたボランティアリーダーの研修を適宜行った。次年度はカリキュラムを体系化し、実施日を年間予定に組み込む。

●インターンシップ(就労体験)推進事業（随時・大学生）

主に大阪教育大学、大阪体育大学からの受入を行った。21人が事業のサポート、施設の整備などを体験された。

<その他自主事業> 11事業 33回（中止を除く） 1082人

●おとなのための自然体験活動

・おとなのえんそく①「シャワークライミング」（8/26・大人）

・おとなのえんそく②「ツリーイング体験」（12/9・大人）

「おとなだって遊びたい！」をテーマに童心に帰って自然と戯れる事業。  
魚釣りやくん製づくりなども行い、大いに盛り上がった。シニア世代の参加者が増加し、安全面への配慮が求められる。

・ニーズに応じて対応するシルバー世代を対象とした体験学習活動（シルバー生涯学習DAY）の該当はなかった。

●家族で焚き火を楽しもう

・「たき火を楽しもう」（1~2月隔週4回・家族）

冬の閑散期の利用促進として実施。身近で出来なくなったたき火を家族で自由に楽しみ、家族の時間を楽しんでいただく事業。大変人気が高く、最終回は37家族127人の参加があった。

●子育て応援します「親子のセミナー」

・「親子deしぜんのようちえん（5/14,7/2,11/19,1/29・4-5歳児と家族）

未就学児を対象に年4回、四季に応じた自然あそびを親子で体験する事業。  
毎回、外部講師を招き、雨天時も自分だけの傘をつくるなど、デメリットを楽しみに変えて「森のおさんぽ」を楽しんだ。他にどろんこあそび、紅葉狩り、柿の実食、目隠しで枯葉の感触を感じるなど、幼児期の感受性を育む五感を使ったアクティビティを行った。

・「もりのこくらぶ」（6/17,11/11,3/2-3・小1~2年生と家族）

「フォレストジュニアクラブ」への橋渡しとして低学年を対象に行う野外体験事業。  
前年度まで「キッズデイキャンプ」として単発で行っていた事業を、年間を通じた活動にアレンジ。最終回は親から離れて一人でお泊りを体験し自立を目指した。

●バーベキューガーデンを使用した事業

・ガーデンイベント②「夏のお泊りパック」（7/15-17,8/10-12各1泊・家族）

・ガーデンイベント④「家族でツリーイング体験」（9/23,24・家族）

バーベキューガーデンの利用促進事業。（①（ホタル）、③（えほんでいただきます）は

主催事業、⑤（ダッジオープン）は自主事業として実施している）

②は、家族で協力し、流しそうめんの桶を竹から切り出し、組み立てた。

④はフォレストジュニアクラブで子どもを対象に行っていたツリーイング体験を「家族でも楽しみたい」ニーズに応え実施。おかし作りや葉っぱクラフトなどを織り交ぜ、好評だった。

●開かれた施設としての地域連携

・「第38回オープンデー」（11/23・家族）

施設内に様々なプログラムを用意し、施設に親しみを感じていただく事業。コロナ禍の期間中は訂正を制限し「秋たっぷりDAY」として開催していたが、従来の形式で再開。おおさか元気広場参加企業ほか各種企業・団体、警察・消防等に協力頂き、セミナーやクラフト、体験会など施設を丸ごと楽しんでいただける工夫を行った。

●お泊りパック

・「ゴールデンウィークお泊りパック」（4/29-30,5/3-7 各1泊・家族一般）

・「ガーデンイベント②「夏のお泊りパック」（7/15-17,8/10-12 各1泊・家族一般）

・「冬のお泊りパック」（1/7-8,2/11-12,2/23-25 各1泊・家族一般）

連休などの繁忙期の事務対応の軽減、冬季閑散期の利用促進を目指す事業。

季節に応じた野外料理やアクティビティをご用意し、フリータイムをたっぷり設定。家族でゆったりと自然に楽しんでいただけた。

●女性のキャンプデビューを応援する事業

・「女性のためのキャンプ体験会」（春 5/20-21,秋 10/21-22・成人女性）

広場でソロキャンプを行うスタイルで、基本は1人で過ごす交流もできる「自由な距離感」を楽しむことができる事業。メスティンやスキレットなどの調理器具を使った“映える”野外料理を取り入れ、キャンプの楽しみ方を提案する工夫をしている。

●プログラミングキャンプ

・「小学生のためのプログラミングキャンプ」（12/16-17・小4～6年生）

学習指導要領に組み入れられたプログラミング教材を活用した事業。

バーチャル空間を創造するゲーム制作やドローンの自動操縦プログラムなどを実施。

3回目になるが、参加児童が既に学んでいるスキルが高くなり、事業の役割は終えた感がある。次年度は企画を見直す見込。

### 3-1. 収 入 実 績

#### 施設総収入額 (1) 宿泊等部門

96,005,921円

項 目	計 画	実 績
利用料金収入	48,653,000円	54,509,125円
事業収入他	38,589,000円	41,496,796円
総 収 入	87,242,000円	96,005,921円

#### (2) 食堂等部門

108,779,995 円

項 目	計 画	実 績
食堂料金収入	101,746,000円	107,592,775円
事業収入他	1,463,000円	1,187,220円
総 収 入	103,209,000円	108,779,995円

#### (3) 府管理運営委託料

59,966,000 円

### 3-2. 収入に関する総括・自己評価

水道光熱費などの高騰もあったが、7月1日からの施設使用料の効果もあり、利用料収入が安定した結果、大幅な収入増となった。また、施設利用人数も目標値の87,500人を大きく超え、90,000人を超える結果となった。利用者の利用方法も多様化してきており、より柔軟な対応やサービスを求められてきている。プログラム指導やクラフトプログラムのセットプランなどの有料サービスも利用ニーズがあり、新しく収入を伸ばす項目の一つとなっている。

#### 4-1. 損益計算表

##### (1) 総括損益計算書

項 目	金 額
宿泊部門総収入 ①	96,005,921円
食堂部門総収入 ②	108,779,995円
管理運営委託費 ③	59,966,000円
施設総収入 ④	264,751,916円
宿泊部門総支出 ⑤	162,490,155円
食堂部門総支出 ⑥	97,870,995円
施設総支出 ⑦ (⑤+⑥)	260,361,150円
損益 ⑧ (④-⑦)	4,390,766円

##### (2) 部門別損益計算書

項 目	合計	総収入 対比率	宿泊等部門	食堂等部門
利用料金収入 A	54,509,125円	20.6%	54,509,125円	
食堂収入 B	107,592,775円	40.6%		107,592,775円
事業収入他 C	33,055,831円	12.5%	33,055,831円	
自主事業収入 D	7,934,185円	3.0%	7,934,185円	
自主事業収入 (バーベキュー場運営) E	1,694,000円	0.6%	506,780円	1,187,220円
管理運営委託費 F	59,966,000円	22.6%	59,966,000円	
総収入 H (A~G合計)	264,751,916円	100.0%	155,971,921円	108,779,995円

事業費用 J	合計	100.0%	162,490,155円	97,870,995円
人件費	106,834,963円	41.0%	74,743,972円	32,090,991円
光熱水費	28,204,745円	10.8%	19,633,453円	8,571,292円
消耗品費	4,995,787円	1.9%	2,528,520円	2,467,267円
宣伝費	783,455円	0.3%	684,475円	98,980円
原材料費	58,848,588円	22.6%	12,613,096円	46,235,492円
修繕費	13,212,903円	5.1%	13,212,903円	0円
手数料	122,711円	0.0%	120,805円	1,906円
委託料	11,515,595円	4.4%	11,028,295円	487,300円
公租公課費	10,831,979円	4.2%	6,658,442円	4,173,537円
賃借料	3,621,770円	1.4%	3,621,495円	275円
施設整備費	4,351,226円	1.7%	4,351,226円	0円
その他	9,829,328円	3.8%	6,599,724円	3,229,604円
自主事業に係る経費	7,208,100円	2.8%	6,693,749円	514,351円
損益 (H-J)	4,390,766円		-6,518,234円	10,909,000円

うち投資額 バーベキュー場リース	1,860,012
------------------	-----------

#### 4-2. 損益に関する総括・自己評価

<p>今年度は4月に大規模な停電があったものの、利用に関しては目標値の87,500人を大きく超える90,801人の集客を得ることができた。収入に関しては、施設利用料の改定が入ったことで全体的な収入がアップし、利用料収入が昨年度、約16%であったところ、今年度は20%と4%の増。食事収入が全体の38.6%であったが、食事収入が全体の約40パーセントと2%の増となった。損益としても黒字に転じることができ、コロナ禍での不況を脱したといえる。</p> <p>事業収入については、事業本数の見直しをおこない、昨年度27事業86回から28事業68回へ集約した。結果、745,605円の減となったが、1回あたりの収入は16,027円の増収となっている。同時に、事業にかかる時間的な余裕が生まれ、満足度が高く質の高い事業を展開することができた。また、事業にかかる職員の負担についても軽減することでワークパフォーマンスの向上ができたことは大きな収穫である。</p> <p>委託料については法令上必要なものは業者に委託したが、その際にも必ず相見積もりを数社から取るなど、経費削減に務めた。また自前で行えるものは職員で行い、できる限りの支出を抑えた。</p>
--

## 5-1. その他の実績（従業員研修、個人情報の保護及び情報公開体制等）

職員研修		
事業所内での研修に加え、整備や衛生管理に必要な技術の習得、外部の研修会や青少年教育施設が主催する研修、情報交換会、実践発表などにも積極的に職員を派遣し、知識の習得とスキルアップを図った。		
6月3日	大阪府キャンプ協会総会	2名
6月24日～24日	自然の家専属指導者そぶりだ研修	5人
8月9日	人権教育地区別セミナー	1名
9月20日 ～10月5日	日独青少年指導者セミナー（ドイツ研修）	1名
11月18日～19日	自然の家専属指導者そぶりだ研修	15人
1月20日～21日	自然の家専属指導者そぶりだ研修	7人
1月27日	救急講習（メディックファーストエイド）	2名
1月28日	救急講習（メディックファーストエイド）	3名
1月29日	大阪府青少年活動財団全体研修（人権研修）	3名
2月10日～11日	日本キャンプ協会キャンプインストラクター養成講習会	1名
2月10日～13日	野外教育指導者講習会	1名
2月13日～14日	近畿地区青少年教育施設協議会ユースプロジェクト研修	3名
2月16日	大阪府青年の家等連絡協議会総会	2名
2月21日	大阪ユースホステル協会全体研修 参加	12名
2月26日	おおさか元気広場出前プログラムづくりセミナー	1名
2月27日、28日	防火管理者講習	2名
2月28日	UCC 食材提案会	6名
3月4日	消防訓練	15名
個人情報の保護等		
個人情報取り扱い規程に基づき、入手した個人情報は適切に管理した。		
情報公開について		
管理運営業務に関する書類を備え置いている。情報公開の請求はなかった。		

## 5-2. その他の実績に対する総括・自己評価

<p>職員のスキルアップや知識向上のため、個々のレベルに合わせて計画的に外部研修会への派遣や自主研修などを行った。</p> <p>今期はリーダーの育成にも力を入れ、6月、11月、3月と年3回のリーダー研修を行い、野外活動でのスキルをはじめ、子どもたちへの接し方や、危機管理などリーダーへの基本となる技術の習得に努めた。</p> <p>また、近畿地区青少年教育施設協議会や、大阪府青年の家等連絡協議会など、他の青少年団体との情報交換や研修を共にすることで、施設間のネットワークを強化し、若手職員の育成の機会とする共に、青少年育成活動の活性化を図った。</p> <p>また、毎月実施している全体会議の場では、危険回避・安全対策・衛生管理・人権問題に関わる知識について職員の相互理解を深める場を設けている。</p> <p>事業の申し込みについてはグーグルフォームを利用することで、スマホから簡単に入</p>
--

力することができ、事業申し込みの簡略化を図るなど、利用者の目線に立ち、効率的な募集を行うことができた。また、個人情報についても、事業の申し込み時に、以後の案内送付や写真提供の可否を必ず確認するなど、個人情報保護に努めた。

## 6-1. 利用者アンケートについて（満足度・改善要望等）

令和5年度 4月～3月分の利用者アンケート集計について

1. 当施設をどのような方法で知りましたか？ ※回答数589件  
過去に（以前に）利用して知っていた 74%  
ホームページから知った 17%  
口コミ 5%  
その他 4%（DM、SNS）
2. 施設についての満足度（宿泊棟・体育館・研修室・野外活動施設等） ※回答数589件  
満足 78%  
普通 22%  
不満 1%  
<改善要望>
  - 洋式トイレの数を増やしてほしい。和式を使ったことの無い児童が多い。  
→ 2023年3月にA棟を一部更新。引き続き府に要請中。
  - 登山道の道がわかりにくい。  
→ 各分岐点に番号看板を設置。マップで現在地をわかりやすくした。  
そのほか中登山道の豪雨による洗堀の埋め戻しなど安全整備を行った。
3. 食事についての満足度（食堂からの提供食・野外炊飯材料等） ※回答数550件  
満足 78%  
普通 22%  
不満 1%未満  
<改善要望>
  - 改善要望ではないが、アレルギー食、宗教上の対応食の要望が増えてきており、細かな対応に感謝の声を頂いている。
4. 職員の対応についての満足度（事前打合わせ・電話対応・利用当日の対応等） ※回答数591件  
満足 88%  
普通 12%  
不満 1%未満
5. 達成度 ※回答数586件  
90～100%達成 76%  
70～89%達成 22%  
69%以下 2%

実施したプログラムの上位と意見（アンケート回答のあった分より）

①野外炊飯184件 ②キャンプファイヤー139件 ③展望台ハイキング84件

- キャンプファイヤー・・・キャンプファイヤー用に太い薪が欲しい。  
→ キャンプファイヤー用に太めの薪を用意した。

- 展望台ハイキング・・・登り切った達成感を味わえた。

## 6-2. 利用者アンケートに対する総括・自己評価

今年度は91%の回収率であった。

施設の申し込みは、利用歴のある団体が7割強と圧倒的に多い。ホームページやSNSなどから情報収集され、遠方からの遠征試合や府内外の行事に参加する団体も目立った。ロコミではスポーツ団体、キリスト系教会団体が増加しているように感じられる。

施設については、安全性、快適性を優先し、特に今年度は上下水機器の老朽箇所の更新、登山道の損傷箇所の整備を重点的に行った。特にトイレの洋式化に対する要望は多い。

食事についてマイナス意見はほとんど見られず、好評価を維持している。また、アレルギー対応、ハラル等の宗教食の細やかな対応に感謝を頂いている。

プログラム関係では、引率教員の負担軽減のニーズから、野外炊飯の指導、キャンプファイヤーの薪組み・進行などの有償指導の要請が増えており、好評をいただいている。このほか、主に事業の一環として行っていた「ツリーイング体験」を希望される団体も増えてきており、フィールドを活かした活動展開をすすめている。

## 7-1. 事故・苦情処理

令和5年度中に事故疾病報告のあった事例は計87件。前年と比べ15件の減（前年度は102件）となっている。

内訳は体調不良が76件（昨年82件）、ケガが11件（昨年14件）、体調不良の内、発熱が42件。体調不良者に関しては、4月から6月の新入学期の学校利用が多い時期に多く発生する傾向にあった。

ケガの発生場所は、ハイキング、炊飯場など屋外活動中、体育館での屋内活動中などであった。

発生の時期は、4月 12件、5月 12件、6月 20件、7月 19件、8月 8件、9月 4件、10月 3件、11月 5件、12月 1件、1月 0件、2月 1件、3月 2件だった。

事故・疾病の発生時は、団体責任者と連携して応急的措置をとっており、インフルエンザや、コロナなどの感染症対策としては、別室で隔離対応し、医療機関の受診をいただき、退所後に該当者が使用した部屋はオゾンによる殺菌を行っている。

事前打合せ時では、毒性植物の注意、毒虫や毒蛇・スズメバチ・マダニなどに対する注意喚起の他、滞在中は、台風の進路情報や熱中症指数の表示など気象情報の提供を行い事故予防に努めた。

昨年度に引き続き、ハチ・アブキャッチャーを設置し、対策を行ったことで所内で大型のスズメバチなどを見る機会は少なかった。

利用者の安全確保と危険回避については、点検により登山道補修、枯木倒木処理、野外炊飯場など補修整備に努めている。また、中登山道に関しては6月に台風による雨水により大規模な洗掘が発生したが、年度内に補修工事を行っている。



## 7-2. 事故・苦情処理に対する総括・自己評価

事故対策については、定期的な施設内の巡回、整備を都度行っている。

苦情については、適切で迅速な対応を心がけ、再発防止を行っている。

特記すべき大きなクレームは今期は無かったが、自己評価としては、利用者のニーズが多様化しており、特に食事に関しては、様々な対応を求められることが増加していると感じる。管理栄養士によるアレルギー食対応や、ハラールなど宗教食への対応、集団での食事ができない児童や生徒に対しての別室での飲食対応など細やかな対応を心掛けている。また、4月に発生した施設全館停電の事もあり、施設竣工から約40年近くとなり、配線・配管などのインフラ関係の老朽化が目立つため、都度、修繕を行ってはいるが、大阪府と連携し大規模改修なども考えていく必要があると感じる。

8-1. 利用実績 (管理宿泊部門)

(1) 概要

		備 考	
開所日数		353日	
休所日数		13日	
利用日数	宿 泊	323日	
	日帰り	298日	
利用件数	宿 泊	723件	
	日帰り	1001件	
利用人数	宿 泊	49,897人	
	日帰り	40,904人	
一日平均利用件数	宿 泊	2.3件	
	日帰り	3.4件	
一日平均利用人数	宿 泊	155人	
	日帰り	138人	
利用 (単 位 金 収 入 状 況 円)	宿 泊 棟	44,502,875円	
	テ ン ト	555,980円	
	日 帰 り	9,450,270円	
	合 計	54,509,125円	

(2) 利用内訳

区 分		団体数	人 数	備 考
宿 泊	宿泊棟	未就学	1,308人	
		小学生	12,864人	
		中学生	12,798人	
		高校生	5,398人	
		他学生	4,160人	
		指導者	3,548人	
		他大人	8,970人	
		計	49,046人	
	テント	未就学	7人	
		小学生	187人	
		中学生	100人	
		高校生	170人	
		他学生	45人	
		指導者	97人	
		他大人	245人	
計		851人		
日帰り	未就学	1,575人		
	小学生	11,087人		
	中学生	12,821人		
	高校生	2,423人		
	他学生	1,834人		
	指導者	3,714人		
	他大人	7,450人		
	計	40,904人		

(3) 宿泊利用実績に対する総括・自己評価

令和5年度は4月初めに受電設備のトラブルによる全館停電の影響もあったが、その他においては順調な受け入れを行うことができ、昨年度の実績である77,003人を大きく超え、90,801人の利用実績を収めることができた。これは、2018年度と比較しても9割程度の利用数を得たこととなり、目標である87,500人を大きく上回ることができた。要因として、政府による新型コロナウイルスの5類移行が大きく影響しており、規制なく利用団体が施設を利用可能となったことと、加えて、コロナ禍において秋季に利用を切り替えた団体が、継続しての利用もあり、4月から11月まで比較的安定した集客を伸ばしている。ただし、学校の利用として、教員の働き方改革の影響もあり、宿泊利用から日帰り利用への切り替えを行う団体も複数見られること、また、夏季においては熱中症対策として利用を見送り春、秋へ分散する傾向がみられる。宿泊実績としては良い数値ではあるが、利用形態の変化について柔軟に対応ができるよう、施設として受け入れ態勢や、活動内容の提案を考えていく必要を感じる。

## 8-2. 利用実績 (食堂部門)

### (1) 概要

			備 考
売上 収入 状況	食 堂	77,907,020円	食堂+補充用お茶
	野外炊飯	21,431,760円	
	その他	8,172,545円	販売
	BBQ関連	1,268,670円	BBQ食材+付帯収入
	合 計	108,779,995円	

### (2) 区分別食事売上状況

		食 数	売上額
食 堂	朝 食	41,111	23,778,300円
	特別食	46	26,200円
	昼 食	21,420	15,203,600円
	特別食	1,865	1,643,860円
	夕 食	36,835	33,195,590円
	特別食	4,410	2,323,200円
	雑収入	-	154,850円
野外炊飯		43,379	21,431,760円
BBQ食材収入		391	950,820円
販 売	弁当	961	471,630円
	補食・夜食	45,487	7,700,915円
BBQ付帯収入		1,024	317,850円
水筒補充用お茶		52,714	1,581,420円
合 計		242,529	108,779,995円

※合計食数には、お茶を含まず。(金額にはお茶・雑収入も含んでいます)

### (3) 食堂利用実績に対する総括・自己評価

今期より、感染症対策が終了となり、従来通りの8人掛けの座席数として食堂利用が可能となった。昨年度に続き、アレルギー対策を強化し、利用団体へ細やかな対応を行うことで満足度の向上に努めた。また、アレルギー対応食についても、作業フローに基づき、2重にチェックを行うことでヒューマンエラーの回避に努め、安心安全な食事提供を心掛けた。

SDG`S達成の目標として、フードロス対策に取り組み、少数団体向けに小型の電気釜の導入を行い、廃棄を少なくする工夫を施した。また自主事業などにおいて食事付きのプランを提案することにより食数を積み重ねることができた。

9. サービスの安定性評価

(1) 収支

項 目	事業計画	実績	対計画比
宿泊部門総収入 ①	87,242,000円	96,005,921円	110.0%
食堂部門総収入 ②	103,209,000円	108,779,995円	105.4%
管理運営委託費 ③	59,966,000円	59,966,000円	100.0%
施設総収入 ④	250,417,000円	264,751,916円	105.7%
宿泊部門総支出 ⑤	147,798,098円	162,490,155円	109.9%
食堂部門総支出 ⑥	103,634,098円	97,870,995円	94.4%
施設総支出 ⑦ (⑤+⑥)	251,432,196円	260,361,150円	103.6%
損益 ⑧ (⑦-④)	-1,015,196円	4,390,766円	

(2) 部門別収支

(単位：円)

項 目	事業計画		実績			
	宿泊等部門	食堂等部門	宿泊等部門	対計画比	食堂等部門	対計画比
利用料金収入 A	48,653,000		54,509,125	112.0%		
食堂収入 B		101,746,000			107,592,775	105.7%
管理運営事業の活動系事業収入 C	30,727,000		33,055,831	108%		
自主事業部門の活動系事業収入 D	7,073,000		7,934,185	112.2%		
自主事業部門のバーベキュー収入 E	789,000	1,463,000	506,780	64.2%	1,187,220	81%
管理運営委託費 F	59,966,000		59,966,000	100.0%		
総収入 H (A~F合計)	147,208,000	103,209,000	155,971,921	106.0%	108,779,995	105.4%

事業費用 J	147,798,098	103,634,098	162,490,155	109.9%	97,870,995	94.4%
人件費	66,378,000	28,198,000	69,734,001	105.1%	27,081,020	96.0%
本部人件費	3,270,000	3,270,000	5,009,971	153.2%	5,009,971	153.2%
光熱水費	22,682,000	10,560,000	19,633,453	86.6%	8,571,292	81.2%
消耗品費	2,926,000	3,597,000	2,528,520	86.4%	2,467,267	68.6%
宣伝費	825,000	0	684,475	83.0%	98,980	
原材料費	15,249,000	51,207,000	12,613,096	82.7%	46,235,492	90.3%
修繕費	2,640,000	550,000	13,212,903	500.5%	0	0.0%
手数料	132,000	0	120,805	91.5%	1,906	
委託料	10,010,000	132,000	11,028,295	110.2%	487,300	369.2%
公租公課費	6,827,000	4,008,000	6,658,442	97.5%	4,173,537	104.1%
賃借料	3,036,000	0	3,621,495	119.3%	275	
施設整備費	0	0	4,351,226		0	
その他	5,721,000	22,000	3,396,330	59.4%	26,210	119.1%
本部事務費	2,090,098	2,090,098	3,203,394	153.3%	3,203,394	153.3%
自主事業に係る経費	6,012,000	0	6,693,749	111.3%	514,351	
損益 (H-J)	-590,098	-425,098	-6,518,234		10,909,000	

(3) 経営状況分析指標

	事業計画	実績	対計画比	備考
事業収支 (収入(A)－支出(B))	-1,015,196円	4,390,766円	-432.5%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	19.4%	20.6%	106.0%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	37.6%	37.2%	98.9%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	4.0%	4.2%	105.0%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/延べ利用者数)	2,769円	2,976円	107.5%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/延べ利用者)	660円	660円	100.0%	

\* 事業改善に向けた分析 \*

管理コストについては、年間を通じて合理的・効率的となるよう努めた。昨年度はマイナス収支であったが、今期については7月1日からの施設使用料の改定が、収入増につながり、収入アップとなった。  
また、大阪府下の学校に対してのDMなどを継続して行った結果、春先から秋口にかけての利用人数の増加にもつながった。宿泊利用に関しても通常通りの利用に戻ったためプラス収支となっている。

10. 利益処分計算書

1. 当期末処分利益	A	= (1) - (2)	4,390,766
収益総額	(1)		264,751,916
支出総額	(2)		260,361,150
2. 大阪府への納付金	B	= A / 2 (マイナスの場合は0円)	2,195,383
3. 指定管理者への分配額	C	= A - B (マイナスの場合は負担額)	2,195,383
公益財団法人大阪ユースホステル協会	C × 0.7		1,536,768
一般財団法人大阪府青少年活動協会	C × 0.3		658,615
4. 時期繰り越し収支差額			0